

AD-8123

サーマルプリンタ

取扱説明書

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

1WMPD4002336

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (5) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (V,CCI) の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

© 1998 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

はじめに

このたびは、AD-8123 サーマルプリンタをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書では、AD-8123 サーマルプリンタ（以後、プリンタと呼びます）や指定 AC アダプタ、指定バッテリーパック、指定 AC ケーブル（以後、指定を省略します）の取り扱い方法について説明しています。

ご使用の前に、必ず「安全上の注意」をよくお読みの上、プリンタを安全に正しくお取り扱いください。

またこの取扱説明書は、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。



この取扱説明書の構成は次のようになっています。

はじめに.....	1
安全上の注意.....	2
取り扱い上の注意.....	9
表記について.....	11
1. 準備.....	12
2. 操作のしかた.....	16
3. プリンタの動作.....	32
4. 仕様.....	34
5. 修理を依頼される前に.....	38
6. お手入れのしかた.....	40

安全上の注意

本書では、本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

これらの記号表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

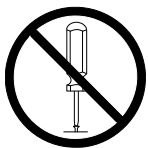
 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人の死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



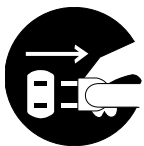
△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

左の表示例は、「警告または注意事項」があることを表しています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

左の表示例は「分解禁止」を表しています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

左の表示例は、「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

ご使用上の注意



本プリンタ、ACアダプタ、ACケーブルは法規制に適合している国でのみご使用ください。
製品安全を確保できない危険がある上、法規違反に問われる場合があります。



次のような場合は、電源を切り、ACプラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリーパックを外してください。

- ◆異常状態から回復できないとき
- ◆異臭がする、煙が出た、異常に熱い、または異常音の発生など通常と異なるとき
- ◆内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき
- ◆ケースが壊れた時

火災や感電の原因になります。販売元に修理をご依頼ください。



内部や隙間に金属片や水などの異物をいれないでください。
火災や感電の原因になります。



分解や改造をしないでください。また、ご自分で修理をしないでください。
火災、事故や故障の原因になります。



指定のACアダプタ、ACケーブル、バッテリーパック以外は使用しないでください。
破裂、発火、発熱のおそれがあり、火災や事故の原因になります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
火災、事故や故障の原因になります。



出力端子やコネクタの金属部に触れたり、ショートさせないでください。
火災、事故や故障の原因になります。



水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないでください。

火災、事故や故障の原因になります。



濡れた手で触れないでください。

感電の原因になります。



バッテリーパックを着脱するときは、電源を切ってください。

感電の原因になります。



ACアダプタのACケーブルが傷んだ場合は、ACプラグをコンセントから抜いてください。

火災、感電や故障の原因になります。

販売元に修理をご依頼ください。



ACアダプタのACプラグに、ほこりや金属物を付着させないでください。

火災や感電の原因になります。



ACプラグの差込みが不完全な状態でACアダプタを使わないでください。

火災や感電の原因になります。



ACアダプタのACケーブルやプラグを破損させないでください。

ACケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたり、ひっぱったり、ねじったりしないでください。

火災、感電や故障の原因になります。



ACアダプタのACケーブルをコンセントから抜くときはプラグ部分を持って外してください。

ケーブルの芯線が露出あるいは断線したりして、火災や感電の原因になります。

注意



長期間使用しない場合は、電源を切り、ACプラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリーパックをプリンタから外してください。火災や感電の原因になります。



お手入れの際は、電源を切り、ACプラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリーパックをプリンタから外してください。火災や感電の原因になります。



乳幼児の手の届かないところに置いてください。ケガなどの原因になります。



以下のような場所で使用、保管しないでください。火災や故障、カガの原因になります。

- ◆ 直射日光の当たる場所、高温になる場所
- ◆ 湿気や埃の多い場所、水分のかかる可能性がある場所
- ◆ 振動の激しい場所、不安定な場所



使用中は、上に布などをかぶせないでください。火災や故障の原因になります。



印字直後は、サーマルヘッドが高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。紙ジャム除去やヘッドクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。ケガの原因になります。



用紙を交換するときなど、ペーパーカバー解放時にはサーマルヘッド、ペーパーセンサ、プラテンローラに直接手を触れないようご注意ください。ケガや故障の原因となります。



プリンタにバッテリーパックを装着する際は、バッテリーカバーをしっかり装着、固定してください。

バッテリーカバーが外れバッテリーパックが飛び出し、ケガや故障の原因となります。



プリンタの動作中に髪の毛等の巻き込まれやすいものをプリンタに近づけないでください。

プリンタ内部に引き込まれ、ケガの原因となります。

バッテリーパック（オプション製品）ご使用上の注意



警告



バッテリーパックが次のような場合、プリンタから取り外し、使用を中止するとともに、火気に近づけないでください。

- ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱いなど通常と異なるとき
- ◆ ケースが壊れたとき
- ◆ 液が漏れてきたとき

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



絶対に分解、改造、ハンダ付けしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



端子に触れたり、ショートさせないでください。

発熱、発火または感電するなどして、火災やケガの原因になります。



火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



炎天下や火のそばなど、高温の場所（35℃以上）で充電しないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



ハンマーで叩く、釘で刺す、押しつぶすなど強い衝撃を与えないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



水の中に入れたり、水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。



濡れた手で触れないでください。

感電、故障の原因になります。

注意



バッテリーパックから出てきた液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

失明の原因になります。



乳幼児の手の届かないところに置いてください。

ケガなどの原因になります。



以下のような場所で使用、保管しないでください。

漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。

- ◆ 車中などの直射日光の当たる場所、高温になる場所
- ◆ 湿気や埃の多い場所、水分のかかる可能性がある場所
- ◆ 振動の激しい場所、不安定な場所

取り扱い上の注意

プリンタの性能を発揮、維持するためには、次のことに注意して正しくお使いください。

ご使用に際して

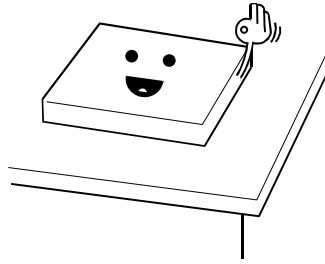
- ◆ 落としたり、ぶついたりして衝撃を与えないでください。
- ◆ 直射日光、電磁界、腐食性ガスの発生する場所には置かないでください。周囲の温度や湿度に気を付けてください。
ご使用に適した環境は次のとおりです。
 - ・温度の範囲：0℃～40℃
 - ・湿度の範囲：30%RH～80%RH（結露しないこと）
- ◆ ACアダプタは、タコ足配線にしないでください。
- ◆ プリンタが印字動作中は、電源を切らないでください。
- ◆ ご使用にならないときは、電源をOFFにしてください。
- ◆ 長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントからはずし、バッテリーパックもプリンタからはずしてください。
- ◆ プリンタやACアダプタが汚れたときは、柔らかい布で汚れを拭きとってください。アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- ◆ ACアダプタの端子が汚れているときは、ご使用になる前に乾いた柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れていると接触不良の原因となります。
- ◆ ACアダプタおよびバッテリーパックは使用中若干熱くなりますが、心配ありません。
- ◆ 低温でバッテリーパックを使用している場合、プリンタを使用できる時間が短くなることがあります。

感熱紙のお取り扱いについて

- ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
- ◆ 固いもので強くこすらないでください。
- ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
- ◆ 塩化ビニルフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
- ◆ 複写直後のジアゾおよび湿式コピーとは重ねないでください。
- ◆ 糊付けするときは化学糊は使わないでください。
- ◆ 感熱紙は必ず指定紙“AX-PP123-S”をお使いください。

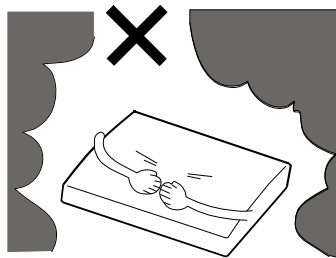
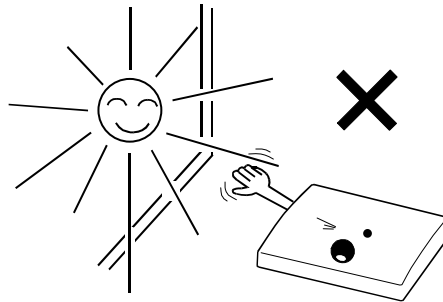
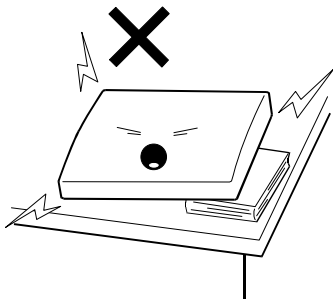
設置について

- ◆ 水平で安定した場所に設置してください。

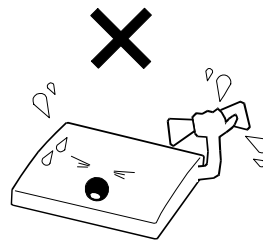


- ◆ 次のような場所には設置しないでください。

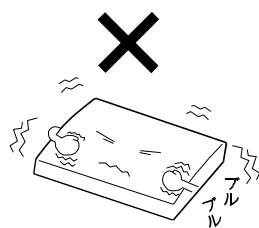
- ・ 傾いた場所や、強い振動のある場所
- ・ 直射日光が当たる場所や、ホコリが多い場所
- ・ 温度が極端に高い場所や、低い場所
- ・ 湿度が極端に高い場所や、低い場所



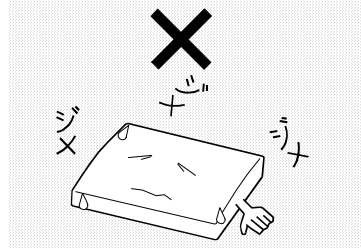
40°C以上



0°C以下



80%RH以上



表記について

次のページ以降では、「安全上の注意」で示した記号表記のほか、取り扱い上の注意事項や知っておいていただきたい事項を、以下のように表記して区分しています。

注意

◆ 取り扱い上の注意事項

守らないと、プリンタの性能を発揮できない、またプリンタの故障の原因となる注意事項です。

ヒント

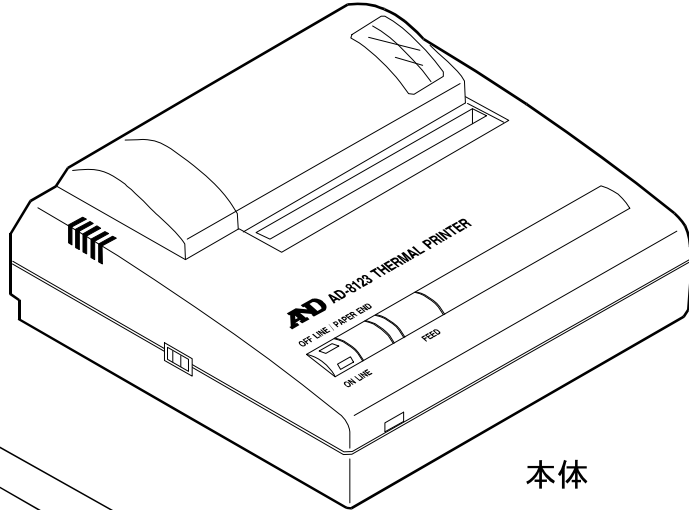
● 知っておいていただきたい事項

プリンタの性能や操作する上で、知っておいていただきたい事項を説明しています。

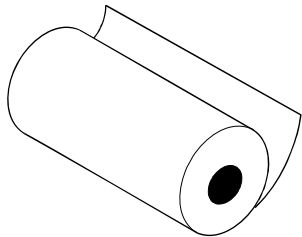
1. 準備

1-1 開梱

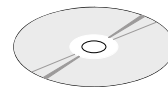
梱包を解きましたら、本体と付属品がすべてそろっていることを確認してください。標準構成では以下の5点が梱包されています。



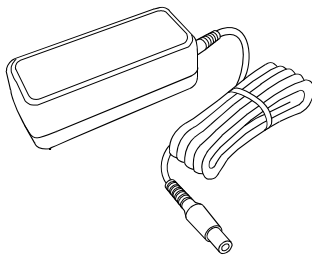
本体



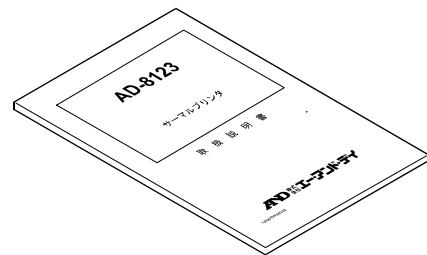
感熱紙 1 巻 (28m)



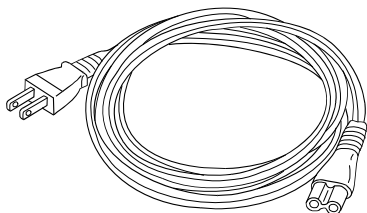
取扱説明書/安全上の注意 (CD-ROM)



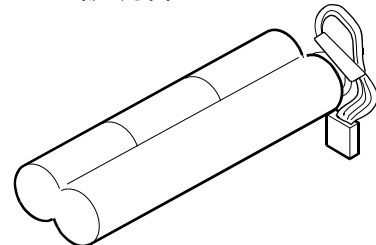
AC アダプタ



説明書 1 冊



AC ケーブル

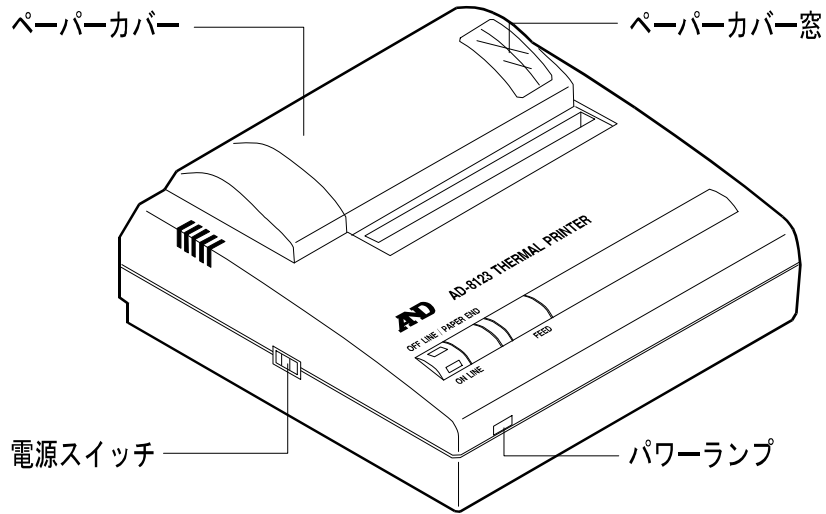


バッテリーパック (本体に内蔵)

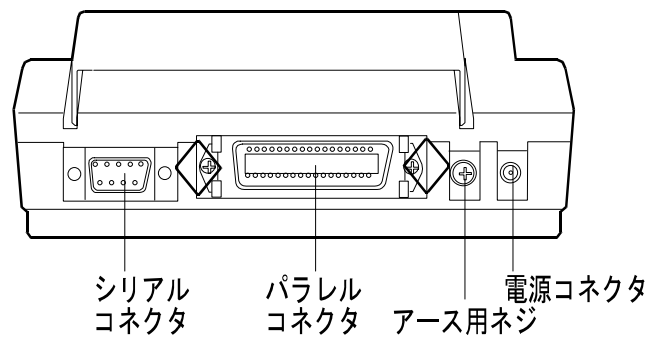
★ 感熱紙は、AX-PP123-S (10 巻組) をご使用ください。

1-2 各部の名称

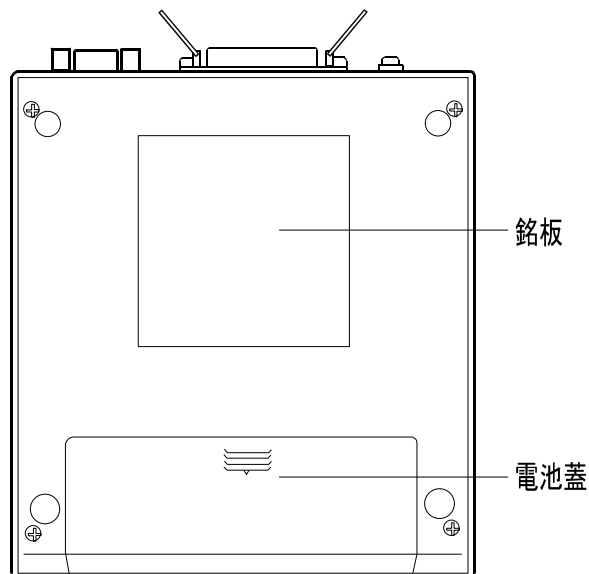
正面



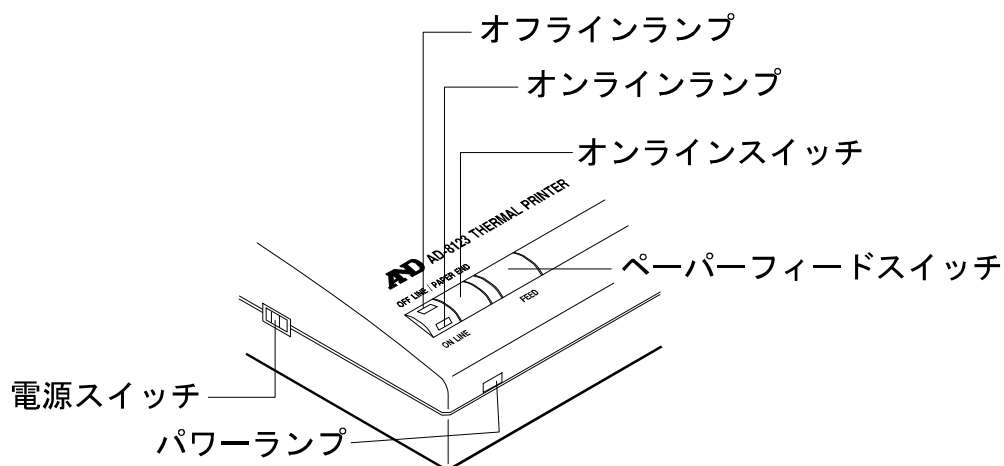
背面



底面



1-3 操作パネル



- | | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源スイッチ | ON にすると電源が入ります。
(初期オンラインに設定されています。) |
| パワーランプ | 電源が入ると点灯します。
バッテリーパックの充電中のときは、約 1 秒ごとに点滅します。
バッテリーパックの残量が少ないときは、約 0.5 秒ごとに点滅します。 |
| ペーパーフィードスイッチ | 押し続けている間は用紙が送り出されます。
(オフライン時に有効) |
| オンラインスイッチ | 押しするとオンラインとオフラインが切り換わります。 |
| オンラインランプ | オンラインのときに点灯します。オフラインでバッファメモリにデータが残っているときは点滅します。 |
| オフラインランプ | オフラインのときに点灯します。
用紙がセットされていないとき、またはなくなったときは点滅します。
エラーのときは、オンラインランプとオフラインランプが点灯します。 |

注意

- ◆ オンラインスイッチとペーパーフィードスイッチを同時に 30 秒以上押し続けしないでください。
ソフトウェア DIP スwitchの設定がリセットされ使用できなくなります。
- ◆ 電源スイッチを OFF にするときはヘッドがホーム位置(左端)に戻っていることを確認してください。
ホーム位置にない状態で長時間放置すると印字品位が落ちることがあります。

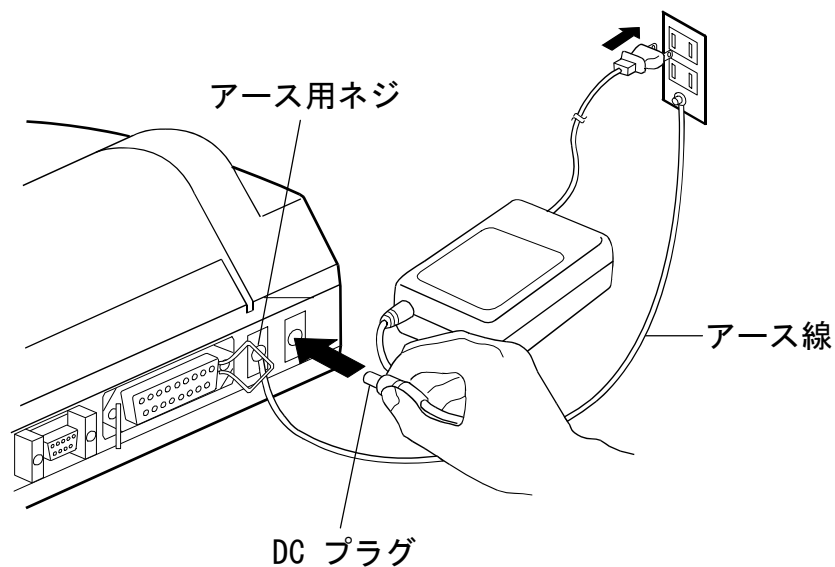
ヒント

- オンライン：測定機からのデータをプリンタに印字させるときは、オンラインにします。
- オフライン：ペーパーフィードスイッチで紙送りをするときや、印字を停止するときには、オフラインにします。ただし、測定機からのデータ入力や機能コード入力はできません。

2. 操作のしかた

2-1 AC アダプタの接続

- ① 電源スイッチを OFF にします。
- ② AC アダプタの DC プラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
- ③ AC アダプタを AC100V (50Hz または 60Hz) のコンセントに差し込みます。
- ④ 電源スイッチを ON にします。



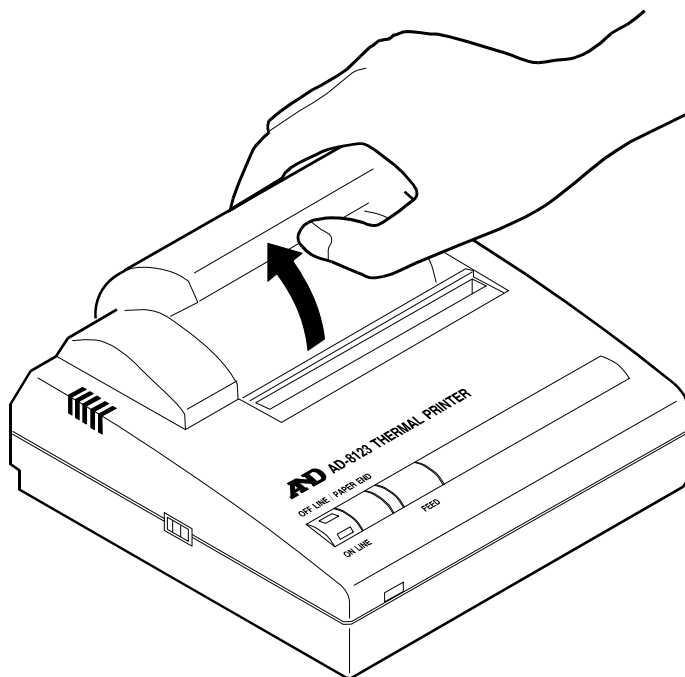
注意

- ◆ AC アダプタは必ずプリンタに付属しているものをご使用ください。
- ◆ アース用ネジとコンセントのアース端子をアース線にて接続してください。
- ◆ DC プラグの先端部および電源ジャックには触れないでください。
- ◆ AC アダプタをはずすときは電源スイッチを OFF にし、AC アダプタ、DC プラグの順にはずしてください。

2-2 用紙のセット

ペーパーカバーの開閉

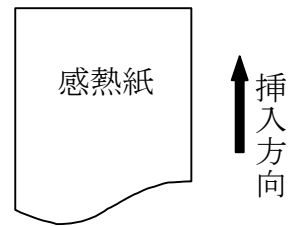
- ① ペーパーカバーに親指をかけて、本体の後方に回転させながら開きます。



- ② ペーパーカバーを閉めるときは、逆の手順で行います。

紙のセット

- ① 電源スイッチを ON にします。
- ② 用紙の先端を紙送り方向に対して直角にカットします。
(未使用のものはそのまま使えます。)
- ③ ペーパーカバーを開けます。
- ④ 用紙の先端を紙挿入口に差し込んでください。
用紙が自動送りされてプリンタ排紙口から出てきます。(約 10cm)
(オートローディング機能)



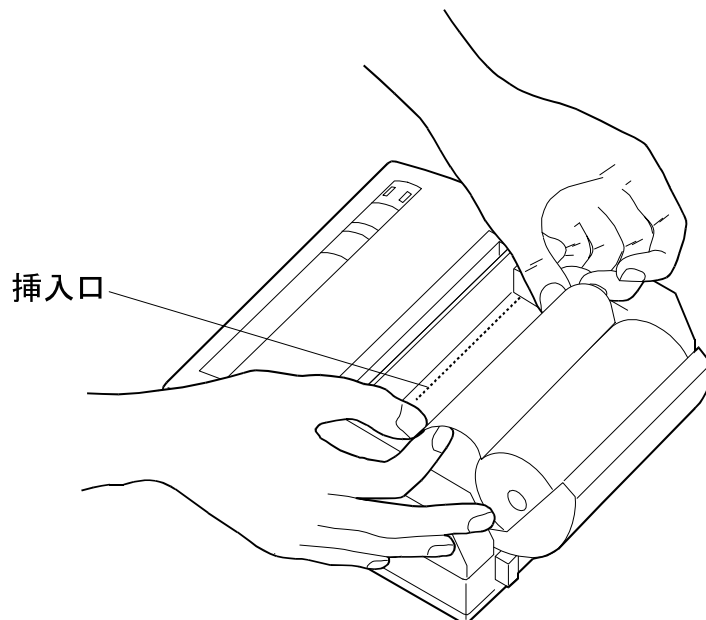
注意

- ◆ 直射日光（屋内外共）が当たっている場所は避け、日陰の状態ですべての紙をセットしてください。

ヒント

- 用紙をペーパーカバーの内側にのせると楽にセットできます。

感熱紙は外側が表になります。
図の向きに挿入します。



- ⑤ 用紙が出てこない場合や、曲がっている場合は、まっすぐスムーズに出てくるまでペーパーフィートスイッチを押し続けます。

ヒント

- 用紙がセットされると、オフラインランプは点滅から点灯に変わります。
- 用紙が残り少なくなると、用紙の両端に赤い線が現れます。

2-3 機能の設定

プリンタの初期状態や入力方式などを、操作スイッチにより設定します。
ソフトウェア DIP SW（以後、DIP SW と呼びます。）の設定値については、「2.4 機能設定項目」を参照してください。

- ① 電源スイッチを OFF にします。
- ② オンラインスイッチを押しながら電源スイッチを ON にします。印字が始まったらスイッチを放します。印字は現在の機能設定内容を表しています。
- ③ 印字の最後に “Continue?:Push ‘On-line SW’ ”, “Write?:Push ‘Paper feed SW’ ” と問いかけてきます。
機能設定を変更する場合はオンラインスイッチを押します。(④へ)
機能設定を変更しない場合は、ペーパーフィードスイッチを押します。
(⑤へ)
- ④ オンラインスイッチを押した場合、機能設定入力状態を示す “Dip SW-1” が印字されますので、Dip SW の設定をスイッチ番号 “1” から “8” まで順に行います。

注意

- ◆ 必ず、“ON”、“OFF” の設定をスイッチ番号 “8” まで順に行ってください。途中で止めることはできません。

“ON” にするときはオンラインスイッチを 1 回押します。“OFF” にするときは、ペーパーフィードスイッチを 1 回押します。
オンラインスイッチあるいはペーパーフィードスイッチを押すごとに入力内容が印字されますので、そのつど、入力結果の確認ができます。
スイッチ番号 “8” の設定が終了すると③の最初に戻ります。

以上の要領で “DIP SW2”, “DIP SW3” について設定を行います。

ヒント

- オンラインスイッチを押すとオフラインスイッチが1回点滅し、ペーパーフィードスイッチを押すとオンラインランプが1回点滅します。

- ⑤ ペーパーフィードスイッチを押した場合、オンラインランプ、オフラインランプが交互に点滅して、新たに設定した機能が内部メモリに書き込まれます。そして設定完了を示す“Dip SW setting complete!!”が印字され、オンライン状態になります。

注意

- ◆ 現在の機能設定状態が印字された後でペーパーフィードスイッチを押した場合、機能設定は変更されません。

- ⑥ “DIP SW3”のスイッチ番号“8”までを設定した後はオンラインスイッチ、ペーパーフィードスイッチのどちらのスイッチを押しても、設定が完了します。

注意

- ◆ 設定値をメモリに書き込んでいる最中は、絶対に電源を切らないでください。電源を切る場合は“Dip SW setting complete!!”の印字後に行ってください。

2-4 機能設定項目

ソフトウェア DIP SW1

網掛文字は、出荷時の設定を示します。

スイッチ番号	機能	ON	OFF
1	入力方式設定	パラレル	シリアル
2	印字速度	高速	低速
3	オートローディング	有効	無効
4	CR 機能	改行復帰	復帰
5	設定コマンド	有効	無効
6～8	印字濃度	下記参照	

印字濃度(%)	スイッチ番号	6	7	8
72		ON	ON	ON
79		ON	ON	OFF
86		ON	OFF	ON
93		ON	OFF	OFF
100		OFF	ON	ON
107		OFF	ON	OFF
114		OFF	OFF	ON
121		OFF	OFF	OFF

ヒント

- DIP スイッチの設定をコマンド入力により行う場合はスイッチ番号 5 を ON にします。

ソフトウェア DIP SW2

スイッチ番号	機能	ON	OFF
1	印字モード	普通印字 (40 桁)	縮小印字 (80 桁)
2	ユーザ定義文字 バックアップ	有効	無効
3	文字種	普通文字	特殊文字
4	ゼロ字体	0	∅
5～8	国際文字	下記参照	

国際文字 \ スイッチ番号	5	6	7	8
日本	ON	ON	ON	ON
アメリカ	ON	ON	ON	OFF
ドイツ	ON	ON	OFF	ON
イギリス	ON	ON	OFF	OFF
フランス	ON	OFF	ON	ON
スペイン 1	ON	OFF	ON	OFF
イタリア	ON	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	OFF	OFF
デンマーク 1	OFF	ON	ON	ON
デンマーク 2	OFF	ON	ON	OFF
ノルウェー	OFF	ON	OFF	ON
スペイン 2	OFF	ON	OFF	OFF
ラテンアメリカ	OFF	OFF	ON	ON

注意

- ◆ スイッチ番号 5～8 は上表以外の設定をしないでください。

ソフトウェア DIP SW3

スイッチ番号	機能	ON	OFF
1	データビット長	8 ビット	7 ビット
2	パリティ有無	無し	有り
3	パリティ設定	奇数	偶数
4	制御フロー	H/W BUSY	XON/XOFF
5～8	ボーレート	下記参照	

スイッチ番号 ボーレート	5	6	7	8
75	ON	ON	ON	ON
110	ON	ON	ON	OFF
150	ON	ON	OFF	ON
300	ON	ON	OFF	OFF
600	ON	OFF	ON	ON
1200	ON	OFF	ON	OFF
2400	ON	OFF	OFF	ON
4800	ON	OFF	OFF	OFF
9600	OFF	ON	ON	ON
19200	OFF	ON	ON	OFF
75	OFF	ON	OFF	ON
75	OFF	ON	OFF	OFF
75	OFF	OFF	ON	ON
75	OFF	OFF	ON	OFF
75	OFF	OFF	OFF	ON
75	OFF	OFF	OFF	OFF

2-5 測定機（NDT, FFT, 水分計）との接続

接続

- ① プリンタの電源スイッチと測定機の電源を OFF にします。
- ② インターフェースケーブルでプリンタと測定機を接続します。
パラレル接続の場合：ベイルロックで固定します。
シリアル接続の場合：取付ネジで固定します。
- ③ ご使用になる入力方式に合わせてプリンタの「機能設定」を行います。
- ④ プリンタの電源スイッチと測定機の電源を ON にします。

注意

- ◆ プリンタと測定機の接続にはインターフェースケーブルを使用します。
“パラレル” “シリアル” と2つの入力方式がありますので、ご使用になる入力方式に合わせてケーブルをご用意ください。

適合コネクタ

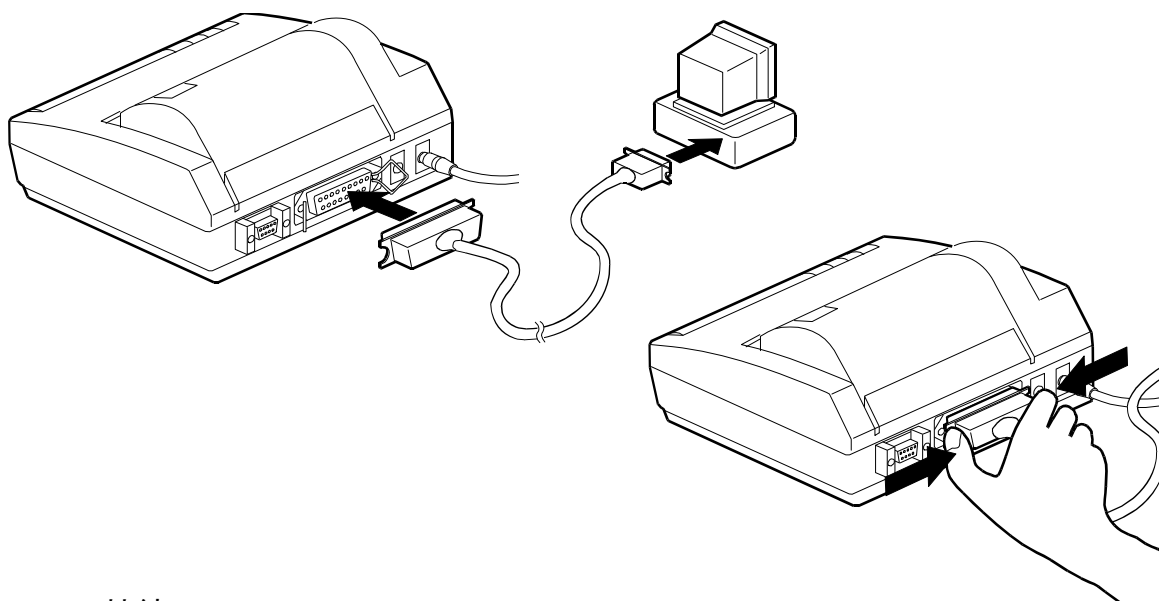
- | | |
|------|-----------------------------------------------------------------|
| パラレル | アンフェノール 36 ピン
プリンタ側：57LE-40360-7700 (D29) (DDK) または相当品 |
| シリアル | D-SUB9 ピン
プリンタ側：(M2.6 タイプ) RDED-9SE-LN(05) (ヒロセ電機)
または相当品 |

- ◆ ケーブルには 1.5m 以内のシールドケーブルをご使用ください。

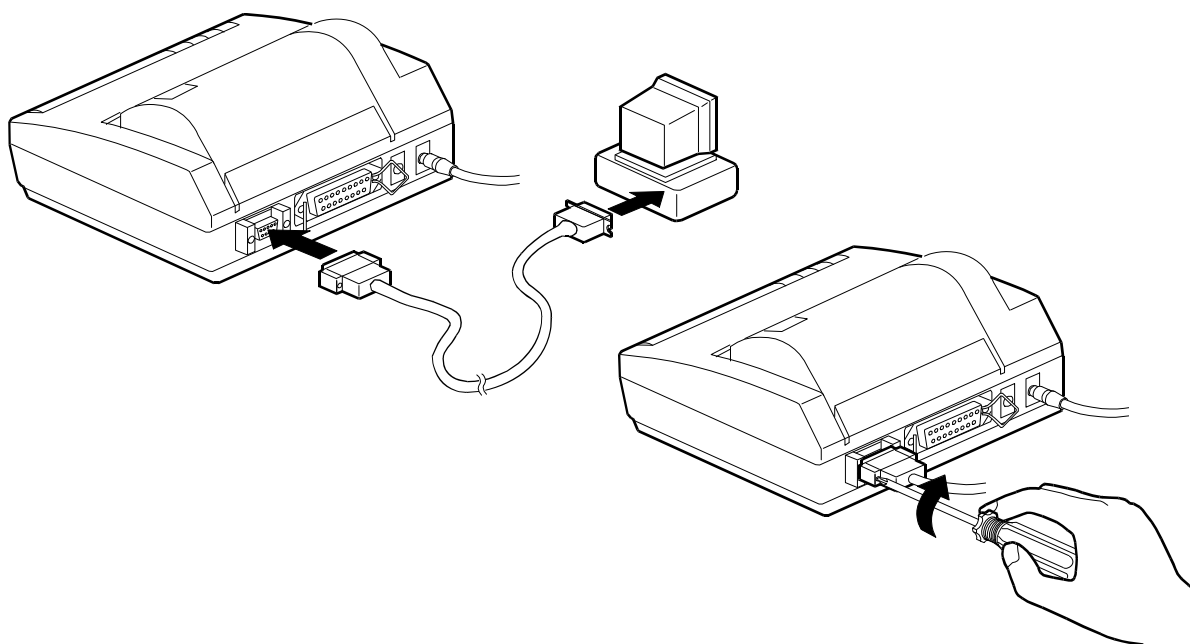
接続の確認

「2-8 印字」になって印字を行い、正しく印字されれば接続は完了です。
万一印字できなかった場合は「5. 修理を依頼される前に」をご参照ください。

パラレル接続



シリアル接続



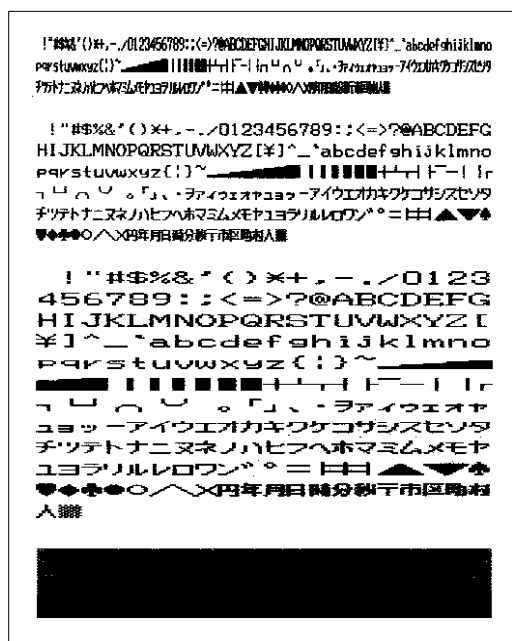
2-6 テスト印字

テスト印字では、文字コード 20₁₆～FE₁₆ の文字を縮小・普通・倍幅拡大の順に印字し、ドット単位の市松模様と黒ベタを印字します。最後に DIP SW の現在の設定を印字します。

以下の手順で印字します。

- ① 電源スイッチを OFF にします。
- ② 用紙がセットされているか確認します。
- ③ ペーパーフィードスイッチを押しながら、電源スイッチを ON にします。
- ④ テスト印字を開始したらペーパーフィードスイッチを放します。

印字例



注意

- ◆ プリンタはテスト印字終了後自動的に止まります。
印字中は電源を切らないでください。

HEX ダンプ印字

測定機から入力したデータを 16 進数と文字で印字します。データが測定機から正しく送られているかどうかをチェックします。

以下の手順で印字します。

- ① 電源スイッチを OFF にします。
- ② ペーパーフィードスイッチを押しながら、電源スイッチを ON にします。
(テスト印字と同じです)。
- ③ オフラインランプが点灯しているときに、オンラインスイッチを押します。(テスト印字の途中でもかまいません)。
[HEX DUMP MODE]と印字して、HEX ダンプモードに入ります。
- ④ 測定機からデータを入力します。16 バイト以上になると次のように印字します。

印字例

```
[ HEX DUMP MODE ]
00000000 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F .....
00000010 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D 1E 1F .....
00000020 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F !"#$%&'()*+,-./
00000030 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F 0123456789:;<=>?
      ↑                               ↑                               ↑
      入力データ数                     入力データ                     入力データ
      (16 進数)                         (16 進数)                         (文字)
```

- ⑤ 電源スイッチを OFF にして、HEX ダンプモードを解除します。

ヒント

- データが 1 行ごとに 16 バイトに満たないときにオフラインにすると、そのデータのダンプ印字を行った後、オフラインになります。
- オフラインにしたときに、バッファメモリにデータが残っていると、オンラインランプが点滅します。
- オフラインからオンラインにすると HEX ダンプモードが再開されます。

2-7 印字

- ① プリンタの電源スイッチと測定機の電源を ON にします。
- ② オンラインランプの点灯を確認します。
用紙がセットされていないときは、オフラインランプが点滅しています。
用紙をセットすると、オフラインランプが点灯になります。オンラインスイッチを押してオンラインにします。
- ③ 測定機からデータと印字指令を送ります。

万一印字できなかった場合は「5. 修理を依頼される前に」をご参照ください

2-8 バッファメモリ

データは高速に入力されてバッファメモリに蓄えられるので、プリンタ出力のために測定機が使用できなくなる時間が大幅に短縮されます。バッファメモリの容量は約 28,000 文字分（約 28KB）です。

オンラインのときは、印字中でもバッファメモリが一杯になるまでデータを入力することができます。

バッファメモリにデータが残っているときにオフラインにすると、オンラインランプが点滅します。オンラインにすると、印字を再開します。

2-9 バッテリーパックの取り扱い

(バッテリーパックは、出荷時本装置に内蔵されています。)

完全に充電すると、ACアダプタを使用せずに約3,000行(”8”40桁)の印字ができます。もちろんACアダプタでも使用できます。

お買い上げ直後や長時間ご使用にならなかったときは、バッテリーが消耗していますので、ご使用になる前に充電してください。

充電のしかた

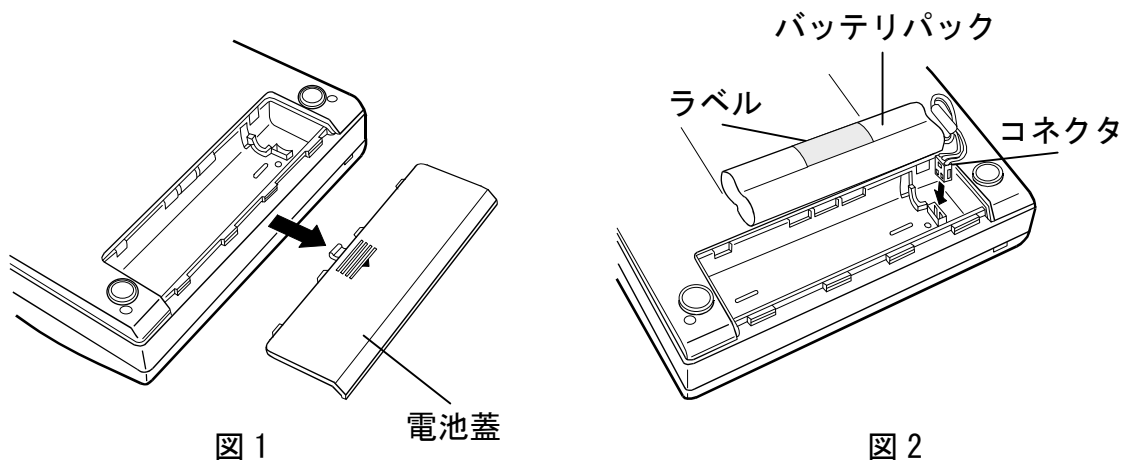
注意

- ◆ 当社指定のバッテリーパックを必ずご使用ください。

バッテリーパックのセット (バッテリーパックを使用される場合のみ)

■ バッテリーパックの取り付け方

- ① 図1のようにプリンタ本体を裏返しにして、電池蓋を外します。
- ② 図2のようにバッテリーパックのコネクタを挿入し、バッテリーパックのラベルが上に見えるようにバッテリーパックを収納します。
- ③ 電池蓋を閉めます。



■ バッテリーパックの外し方

- ① 電池蓋を外します。
- ② バッテリーパックを取り出してから、コネクタをつまんで引き抜きます。
- ③ 電池蓋を閉めます。

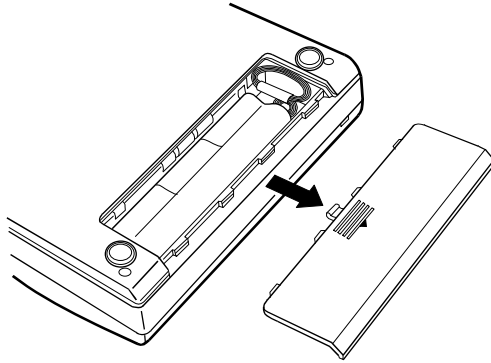


図 1

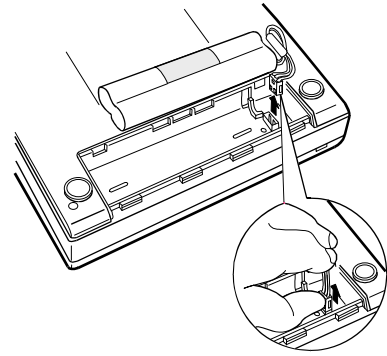


図 2

■ 充電のしかた

- ① AC アダプタを接続します。
- ② 電源スイッチを ON にします。
パワーランプが 1 秒ごとに点滅し、充電が始まります。
約 10 時間でパワーランプが点滅から点灯に変わり、
充電が完了します。
- ③ 充電が終了したら、AC アダプタを外します。

注意

- ◆ 5℃～40℃の温度範囲で充電してください。
電池の性能が低下することがありますので、必ず守ってください。
- ◆ 本製品は電源スイッチ OFF では、充電を行いません。

ヒント

- 印字中はバッテリーパックの充電を行いません。
印字が終了すると自動的に充電を再開します。

印字中にバッテリーが消耗したら

パワーランプが約 0.5 秒ごとに点滅してオフラインになります。AC アダプタを接続してください。

バッファメモリにデータが残っているときは、オンラインランプが点滅します。電源を切らずになるべく早く AC アダプタを接続してください。オンラインにすると残りのデータを印字します。

注意

- ◆ バッテリーの充電量が十分残っている状態で充電を繰り返すとバッテリーの性能が低下することがあります。
充電はパワーランプが点滅してバッテリーの残量が減っていることを確認してから行ってください。
- ◆ バッテリーでご使用になるとき：
ご使用後は電源スイッチを OFF にしてください。
ON のままにしておくとバッテリーは消耗し続け、最終的には空となり、バッテリーの性能低下や故障の原因となります。
- ◆ AC アダプタでご使用になるとき：
ご使用にならないときは電源スイッチを OFF にし、AC アダプタをコンセントから外してください。
- ◆ バッテリーパックのリサイクル
不要になった二次電池（Ni-MH）は廃棄せず、最寄のリサイクル協力店にお持ちください。

3. プリンタの動作

3-1 バッファフル印字

AD-8123 は、1 行分のデータを受け取るための行バッファを持っています。1 行の桁数を超えるデータと受け取ると、印字指令がなくても印字を開始します。

これを“バッファフル印字”といいます。

3-2 インターバルホームリターン

プリンタの保護のため、次の場合には自動的にヘッドがホーム位置（左端）に戻ります。

- ・測定機からデータが送られてこないとき
- ・オンラインスイッチを押して、オフラインにしたとき
- ・印字中に用紙がなくなったとき

3-3 エラー

エラー状態になるとオンラインランプとオフラインランプが点灯します。データ入力および紙送りはできなくなります。

エラーは次の 4 つの場合に起こります。

- A. 電源を入れてもヘッドがホーム位置に戻らなかったとき
- B. インターバルホームリターンでヘッドがホーム位置に戻らなかったとき
- C. 極端に温度が低いあるいは高いとき
- D. バッテリーが消耗したとき

エラーになったとき

A、B：

- ① 電源スイッチを OFF にします。
- ② 異物を取り除きます。
- ③ 電源スイッチを ON にします。

C：

0°C～40°Cのところで使用します。

D：

AC アダプタを接続して、電源スイッチを ON にして、バッテリーパックの充電を行います。

3-4 紙なし検出

用紙がセットされていないときはオフラインになり、オフラインランプが点滅します。オフラインランプが点滅している間は、オンラインにはできません。用紙をセットするとオフラインランプが点滅から点灯に変わります。オンラインスイッチを押して印字することができます。

印字中に用紙がなくなった場合も、同様にオフラインになります。新しい用紙をセットしてオンラインスイッチを押すと印字を再開します。

4.仕様

4-1 一般仕様

プリンタ

印字方式	:	感熱シリアルドット方式
キャラクターモード		
総ドット数	:	9×320 ドット/行
文字構成	:	9×7 ドットマトリクス
文字間スペース	:	1 ドット
印字桁数	:	40 桁 (普通文字)、80 桁 (縮小文字)
印字方向	:	単方向/双方向ロジカルシーク
ビットイメージモード		
総ドット数	:	8×320 ドット/行
印字方向	:	単方向ロジカルシーク
印字幅	:	89.6mm
印字速度	:	最高 52.5 cps (普通文字) 最高 80 cps (縮小文字)
外形寸法	:	160mm×170mm×66.5mm
本体重量	:	約 580g (バッテリーパック含まず)
耐用寿命	:	約 50 万行 (“8” 40 桁連続印字) (印字濃度 100%の場合)

動作条件

温度範囲	:	0°C～40°C
湿度範囲	:	30%RH～80%RH (結露なきこと)

感熱紙

型番	:	AX-PP123-S (10 巻組)
紙幅	:	112mm
ロール長	:	約 18m

AC アダプタ

入力	:	AC100V, 50/60Hz
出力	:	DC6.5V, 2.0A

バッテリーパック (内蔵)

使用電池	:	ニッケル水素電池 (Ni-MH)
公称電圧	:	4.8V
重量	:	約 120 g

4-2 インターフェース仕様

パラレル

(1) 仕様

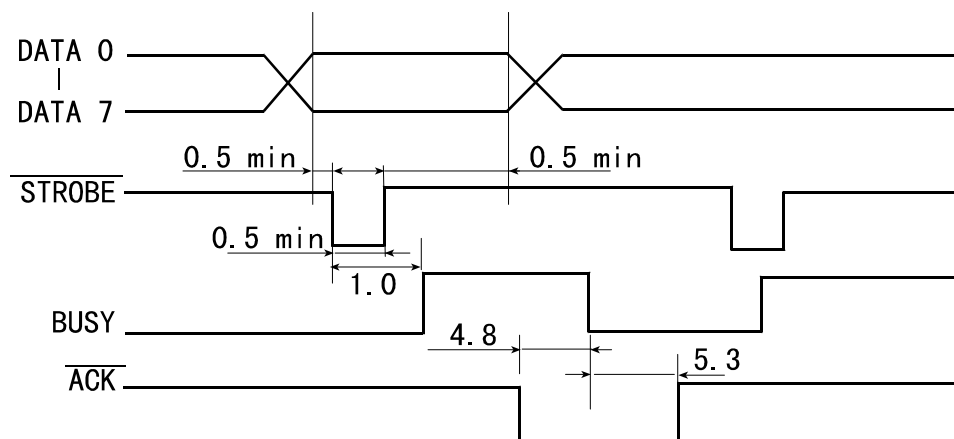
データ入力：セントロニクス準拠

ハンドシェイク： $\overline{\text{STROBE}}$, BUSY , $\overline{\text{ACK}}$

(2) コネクタの信号説明

端子番号	信号名	方向	機能
1	$\overline{\text{STROBE}}$	入力	データ読み込み
2～9	DATA0～7	入力	データ High で “1”, Low で “0”
10	$\overline{\text{ACK}}$	出力	データ読み込み完了を示す
11	BUSY	出力	データ読み込み不可を示す
12	PE	出力	紙なしを示す
13	SLCT	出力	オンラインを示す
14	$\overline{\text{AUTO}} \cdot \overline{\text{LF}}$	入力	電源投入時に Low の場合自動改行モードになる
15	NC	-	未使用
16	GND	-	グラウンド
17	FG	-	フレームグラウンド
18	NC	-	未使用
19～30	GND	-	ツイスト・ペア・リターン信号用グラウンド
31	$\overline{\text{INIT}}$	入力	イニシャライズ
32	$\overline{\text{ERROR}}$	出力	エラーを示す
33	GND	-	グラウンド
34	NC	-	未使用
35・36	+5V	-	常時 High レベルで $4.7\text{k}\Omega$ にてプルアップされている

(3) データ入力タイミング (単位： μs , Typ.)



(4) 入出力信号条件

項目	規格			単位
	Min.	Typ.	Max.	
入力 : Low レベル電圧	0.0	-	0.9	V
入力 : High レベル電圧	3.5	-	5.0	V
出力 : Low レベル電圧	-	-	0.5	V
出力 : High レベル電圧	3.5	-	-	V

シリアル

(1) 仕様

データ入力 : RS-232C

データ制御 : H/W BUSY, XON/XOFF

(2) コネクタの信号説明

端子番号	信号名	方向	機能
1	NC	-	未使用
2	TxD	出力	XON/XOFF 出力
3	RxD	入力	データ受信
4	-	-	6 番端子と結線されている
5	GND	-	グラウンド
6	-	-	4 番端子と結線されている
7	NC	-	未使用
8	RTC	出力	送信要求
9	NC	-	未使用

測定機との接続

測定機	AD-8123
RxD	2 TxD
TxD	3 RxD
DTR	4 6 と結線されている
GND	5 GND
DSR	6 4 と結線されている
RTS	7 NC
CTS	8 RTS

(3) エラー処理

エラーが起こると次のマークを印字します。

?(3F₁₆) : フレーミングエラーが起きています。

!(21₁₆) : パリティエラーが起きています。

*(2A₁₆) : オーバランエラーが起きています。

電源を OFF にして、測定機と AD-8123 のディップスイッチの設定をチェックしてください。

注意

- ◆ 電源を切る時は、プリンタの電源を OFF にしてからコンピュータの電源を OFF にしてください。
シリアル接続で PC などのコンピュータに接続してご使用になるときに、コンピュータの電源を先に OFF にするとプリンタに“?”を何行か印字することがあります。これはコンピュータの電源を OFF するときに出力された不安定な信号が、フレーミングエラーを起こすためであり、プリンタの故障ではありません。

(4) 入出力信号条件

項目	規格			単位
	Min.	Typ.	Max.	
入力 : Low レベル電圧	-15.0	-	-3.0	V
入力 : High レベル電圧	3.0	-	15.0	V
出力 : Low レベル電圧	-	-12.0	-	V
出力 : High レベル電圧	-	12.0	-	V

5. 修理を依頼される前に

プリンタが正常に動作しないときや、障害がおこったときは、次の点をお調べください。それでも修復できない場合は当社営業所またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

電源が入らない（パワーランプが点灯しない）

チェック項目	処置
電源スイッチはONになっていますか？	電源スイッチをONにしてください。
ACアダプタをご使用のときは、ACアダプタを正しく接続していますか？	「2-1 ACアダプタの接続」を参照してください。
バッテリーパックをご使用のときは、電池が充電されていますか？	「2-10 バッテリーパックの取り扱い」を参照してください。
コンセントに電気が来ていますか？	他の電気製品を使用して動くかどうかを確かめてください。

紙送りができない

チェック項目	処置
用紙が正しくセットされていますか？	「2-2 用紙のセット」を参照してください。
紙挿入口に異物がつまっていますか？	異物を取り除いてください。
オンラインランプとオフラインランプが点灯していますか？	エラーが発生しています。「3-3 エラー」を参照してください。
オンラインランプが点灯していますか？	オフラインにしてください。

印字しない・印字が途中で止まる

チェック項目	処置
オフラインランプが点滅していますか？	用紙がなくなっています。新たにセットしてください。
オフラインランプとオンラインランプが点灯していますか？	エラーが発生しています。「3-3 エラー」を参照してください。
オフラインランプが点灯していますか？	オンラインにしてください。
オフラインランプが点灯し、パワーランプが点滅していますか？	バッテリーパックが消耗しています。ACアダプタを接続してください。
オンラインランプが点滅していますか？	ACアダプタを接続して、オンラインにしてください。
機能設定は正しく設定されていますか？	使用する入力方式に合わせて設定してください。
インターフェースケーブルは正しく接続されていますか？	「2-5 測定機との接続」を参照してください。
指定紙 (AX-PP123-S) をお使いですか？	指定紙をお使いください。
用紙が裏返しではありませんか？	外側が表になります。「2-2 用紙のセット」を参照してください。
テスト印字はできますか？	テスト印字ができないときは、当社営業所もしくはお買い上げの販売店までご連絡ください。

誤印字する・思いどおりに印字しない

チェック項目	処置
インターフェースケーブルは正しく接続されていますか？	「2-5 測定機との接続」を参照してください。
機能設定は正しく設定されていますか？	使用する入力方式に合わせて設定してください。シリアル入力の場合、ソフトウェア DIP SW3 の設定が間違っていると“!”、“?”, “*” が印字されます。測定機の通信方式に合わせて設定してください。

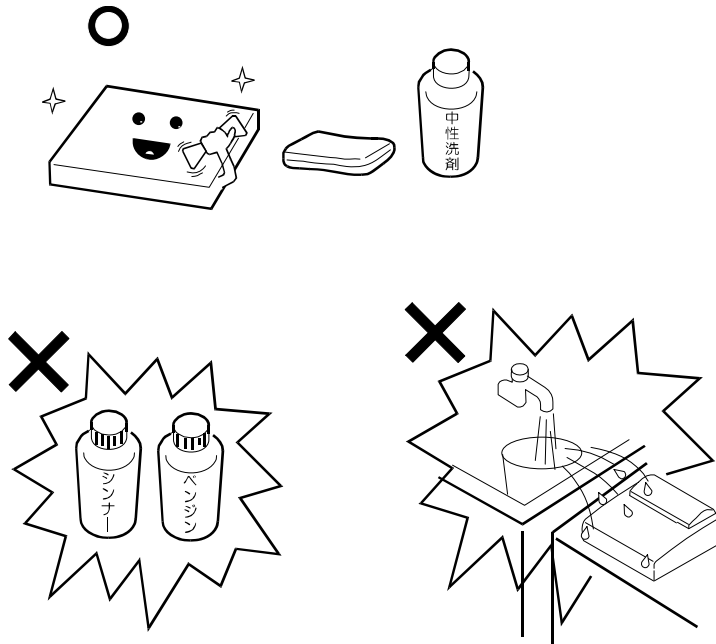
印字が濃い・薄い

チェック項目	処置
温度が極端に高かったり低かったりしていませんか？	0°C～40°Cのところでお使いください。
指定紙 (AX-PP123-S) をお使いですか？	指定紙をご使用ください。
機能設定は正しく設定されていますか？	機能設定の印字濃度の設定を確認してください。

6. お手入れのしかた

プリンタの表面が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤を少し入れた水に浸し、よく絞ってから拭きます。

その後、乾拭きしてください。



注意

- ◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- ◆ プリンタの内部は絶対に水などで濡らさないでください。